【2025 年 7 月 7 日：プレスリリース】

菱池遊水地（愛知県）でペロブスカイト等を使用した太陽光実証実験を開始しました

丸栄コンクリート工業株式会社（住所：岐阜県羽島市福寿町間島 1518、代表取締役社長：棚橋 肇）は、パシフィックコンサルタンツ株式会社（代表企業）、積水化学工業株式会社、日本興業株式会社と共同で、環境省の水インフラの空間ポテンシャル活用型再エネ技術実証事業における愛知県の矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトにて、愛知県幸田町に建設中の菱池遊水地の堤防法面を活用した太陽光実証実験を開始しました。

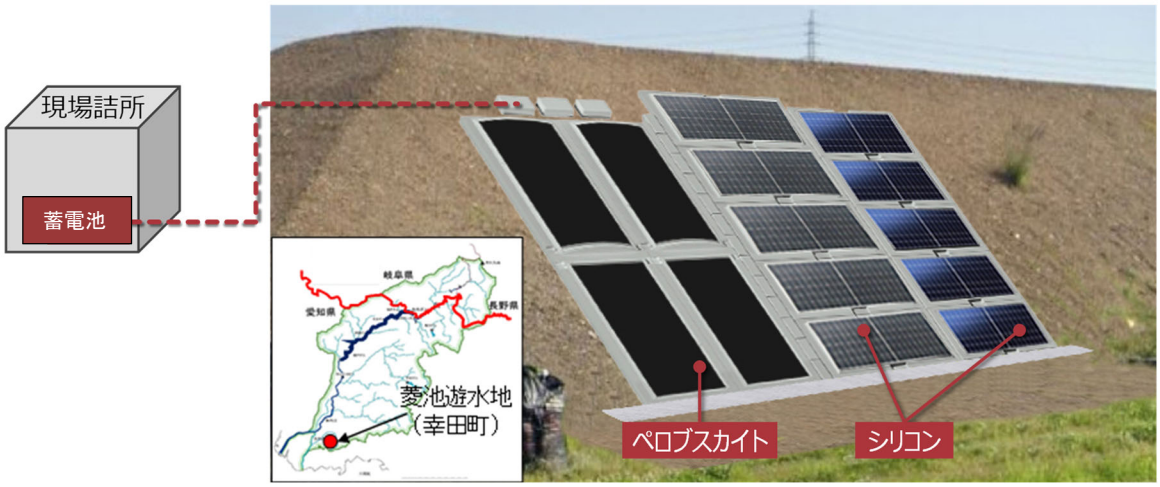
■本実証事業について

愛知県では、「矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト」として、矢作川流域をモデルケースに、水循環を基軸とした再生エネルギーの導入、官民連携で総合的かつ横断的にカーボンニュートラルを目指す先導的な取り組みを行っています。本実証事業は、愛知県より採択され、菱池の周囲堤の一部の法面を活用して太陽光発電を行うものです。河川管理施設等構造令上の構造および維持管理等へ支障を生じさせずに太陽光発電設備の設置および発電を行う技術を開発します。

■技術開発および実証実験の概要と目的

遊水地の堤防法面にペロブスカイト等の太陽電池モジュールを埋め込んだ法面ブロック（太陽光発電ブロック）等を設置し、構造および維持管理等へ支障を生じさせずに太陽光発電を実施します。本技術は、堤防機能を維持しつつ、太陽光発電を行うものであり、遊水地堤防で適用性が認められれば、ダム、ため池等の法面への適用も考えられ、水インフラ空間での再エネ普及に大きなインパクトを与えることが期待されています。

実証内容	全体システム設計、法面ブロック開発、堤防の維持管理性の確認等
実証箇所	愛知県額田郡幸田町（菱池遊水地）
期待される効果	太陽光発電の設置箇所の拡大、堤防の強化、除草費用の抑制等
検証内容	堤防および太陽光発電システムの維持管理方法 雨水排水、天候による影響、防草効果、感電リスクの確認 上記を踏まえ、ブロック改良や標準仕様化を検討



太陽光発電システム設置イメージ図

太陽光発電ブロック現地写真

■今後の展望

本実証事業により、水インフラ施設での太陽光発電への再エネ導入手法を確立し、日本全国の堤防やダムの法面・貯水池水面など、さまざまな水インフラ施設へ適用範囲を広げることで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■丸栄コンクリート工業株式会社について
当社は 1925 年の創業以来、コンクリート二次製品を通じて日本の国土づくりに貢献してきました。環境との調和や防災・減災を重視し、高品質で持続可能な製品を開発しています。さらに、省人化・効率化を進め、低炭素型コンクリートの導入など、サステナビリティ（持続可能性）に配慮した事業運営に取り組んでいます。創業 100 年を迎えるにあたり、次の 100 年に向けた新たな挑戦を続け、より良い社会の実現に寄与してまいります。

【会社概要】
会社名：丸栄コンクリート工業株式会社
所在地：〒501-6293 岐阜県羽島市福寿町間島 1518
代表者：代表取締役社長　棚橋　肇
公式 HP：https://www.maruei-con.co.jp
問合窓口：総合技術研究所第 2 技術開発部　渡部（東京）・水野（克）（名古屋）
東京支店開発営業課　松下
ＴＥＬ ：03-3252-5277
E-mail：tokyo@maruei-con.co.jp